

各 位

上場会社名 東日本ハウス株式会社
 代表者 代表取締役社長 成田 和幸
 (コード番号 1873)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理担当 青苺 雅肥
 (TEL 03-5215-9905)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年9月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年10月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,600	3,010	2,150	1,630	25.41
今回発表予想(B)	52,630	2,570	1,690	1,350	20.40
増減額(B-A)	△2,970	△440	△460	△280	
増減率(%)	△5.3	△14.6	△21.4	△17.2	
(ご参考)前期実績 (平成20年10月期)	66,416	4,393	3,378	2,697	43.26

平成21年10月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	46,000	2,710	1,890	1,520	23.44
今回発表予想(B)	44,210	2,380	1,440	1,000	14.14
増減額(B-A)	△1,790	△330	△450	△520	
増減率(%)	△3.9	△12.2	△23.8	△34.2	
(ご参考)前期実績 (平成20年10月期)	55,942	3,415	2,400	1,885	28.73

修正の理由

(1)連結

売上高につきましては、主に住宅事業の完成工事高が、住宅ローン審査の厳格化による着工の遅れ等により翌期へずれ込んだこと、建売住宅及びリフォーム工事の受注高が予想を下回ったこと等により、前回予想を下回る見込であります。営業利益につきましては、原価低減及び販売費及び一般管理費の削減に努めましたものの、売上高の減少を補いきれず、前回予想を下回る見込であります。営業利益の減少に伴い経常利益及び当期純利益も前回予想を下回る見込であります。連結子会社における過年度法人税の還付等により、当期純利益の減少額は経常利益の減少額を下回る見込であります。

(2)個別

売上高につきましては、住宅事業の完成工事の遅れ等により、前回予想を下回る見込であります。営業利益につきましては、原価低減及び販売費及び一般管理費の削減に努めましたものの、売上高の減少を補いきれず、前回予想を下回る見込であります。展示場のスクラップ・アンド・ビルドに伴うリース解約損失や、固定資産除却損、減損損失の増加等により、経常利益及び当期純利益も前回予想を下回る見込であります。

(注)本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上